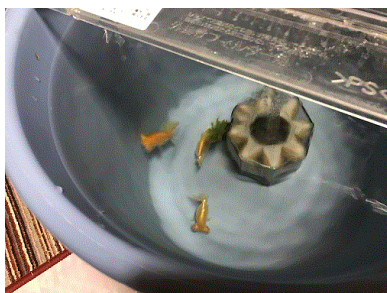


金魚マイスター：P.N. 金魚大好き☆P. P

アルビノ出目らんちゅうの観察日記 No.03

種類： アルビノ出目らんちゅう 名前：特になし

【飼育メモ】



2017.10.23 撮影

最近の温度変化のせいか水草がすさまじい勢いで減りました。

金魚はとても元気に見えます。

○餌：一日2回。今のところ寒くても食べる量は変化なし。エサの時はどこにあるか慌ててエサの周りをぐるぐるしています。上手に食べる子は掃除機のように食べます。そして排泄物は多いです。

○水換え：1週間に1回。1/3～1/2 新しい水と交換。新しい水は同じところに一日置いた水にバクテリアの元を入れて使用。
ろ過器も水換えの時に洗浄。洗浄に使う水は飼育槽から取り出した古い水。
暑い時期に水草についてたのか小さい貝がいたので、水換えの時に除去。
現在、貝は見なくなりました。

エアコンは効いても、バケツのため床に近いのか、水は触ればかなり冷たいです。そのため水換えの時は手が痛くなります。それにもかかわらず金魚は元気にはしています。
秋によく食べたのかさらに大きくなった…と思います。

【おまけ記事】 **金魚自販機の金魚の観察日記 No.2**



2017.9.20 撮影

体に白い点がある白点病があるため塩水浴によるトリートメント。

白点病は、金魚の風邪と言われるほどとてもかかりやすい代表的な病気です。

【白点病の原因・予防・治療】

原因は白点虫という寄生虫。季節の変わり目、水質悪化により起こります。

予防はこまめな水換えをして、清潔な状態を保つ。

治療は、薬浴、塩水浴（0.5%）、両方の併用。ヒーターがあれば 29℃～30℃で一週間治療を行い、1週間以上続ける。早期であれば塩水浴だけで治ります。

【トリートメント観察】

まだ早期だったので薬やヒーターは使用せず塩水浴とこまめな水換えを行いました。

水換え頻度はこんな感じ

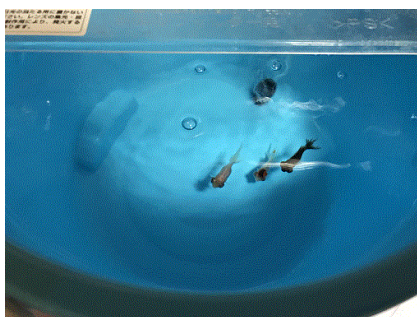
				9/15	9/16	9/17
				○	○	○
9/18	9/19	9/20	9/21	9/22	9/23	9/24
○	○		○	○	○	○
9/25	9/26	9/27	9/28	9/29	9/30	10/1
	○				○	

塩水浴 0.5% 期間は2週間。水換えの際は念のため水合わせ。

結果、1週間くらいで白点はほとんどなくなり、2週間には完治しました。

【新たな問題】

白点病も完治し、塩水から真水（飼育水）に慣らす期間に入ったあたりで別の問題が発生。



2017.10.23 撮影

写真の通り出目金が3匹☆になりました。元気になったあたりに金魚同士のいじめが発生しました。☆になった子はみんな怪我をしていました。気づいた時には弱っており、残念ながらダメでした。残った子同士も、お互いつつきあっています。

【金魚のいじめ】

金魚のいじめは、泳ぎの良し悪し。体格、大きさ、品種の違いのほか。

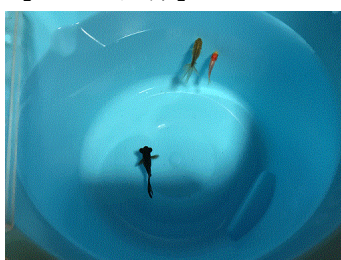
エサの取り合い、縄張りなどがあります。

金魚のいじめはきつく、いじめられている子が死ぬまでやり続けます。

いじめを見つけたら、暴れん坊、いじめられている子を隔離します。

こればかりは混泳させないとわからないです。兄弟であってもいじめが起こるので本当にわからないです…。3匹にはもっとはやく気づいてあげればよかったです。

【おまけ画像】



地元のお祭りの金魚すくいで、ご好意でいただいた金魚。

丹頂柄の和金、琉金、フナ尾の出目金です。

琉金は残念ながらその日に☆になりました。

色変わり前（緑よりの銀色）の金魚は0.5%の塩水はだめとのことでした。後で知って後悔しました。

フナ尾の出目金は先祖返りで（原種のフナ体型に戻る）フナ尾で生まれた子です。

らんちゅうや水泡眼でも背びれが生えた子（実際にミックス水槽で見かけました）がいます。

フナ尾の子はフナに近いのか従来の子より丈夫とのことでした。

【参考図書】

○白点病について

「金魚 長く、楽しく飼うための本」 池田書店 2015.5.25

監修：岡本信明・川田洋之助

○色変わり前の金魚の塩水浴について

「原色金魚図鑑」 池田書店 2013.7.19

監修：岡本信明・川田洋之助

○金魚のいじめ、フナ尾の子について

「金魚に首ったけ」 成美香穂 ぶんか社 2015.5.10